

理事通信

2010～2011 年度

No.13 (最終号)

2011 年 6 月 10 日発行



ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

主題「豊かな奉仕! ~ 変化そして躍進!」



Let's Serve Joyfully! ~ Change and Everlasting Jump!

第 14 回東日本区大会が無事終了いたしました。ホストクラブの松本クラブ他多くの方々のご尽力で、長く記憶に残る大会となったかと存じます。「ワイズの心」が被災地の方々に届いたことを信じます。理事スタッフともども 1 年間のご協力に深く感謝しつつ、本年度最後の理事通信をお届けいたします。

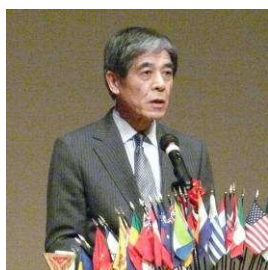
東日本区理事 松田俊彦

13-1 第 14 回 東日本区大会

6 月 4 日 (土)、5 日 (日)、梅雨の合間の信州晴れの良き日に、東日本大震災被災者支援・第 14 回東日本区大会が長野県松本文化会館を会場として、410 名の参加者を集め開催されました。ホストクラブは松本クラブ、協力クラブは東京、甲府、甲府 21、富士五湖、長野の各クラブでした。



「松本から届けようワイズの心」を合言葉に、ワイズスピリットとホスピタリティーにあふれた大会でした。医師としてチェルノブイリ原発事故被災地で奉仕された菅谷昭松本市長 (写真左) の貴重なお話、長野県人の歌



手・俳優の上條恒彦さんのトークと歌 (写真右) は市民にも公開されました。また、仙台 YMCA 大野総主事を初め多くの方々からの東日本大震災への取り組みのお話は、参加者に感動と啓発を与えました。

松本ならではのアルプホルン、スズキ・メソードの子供たちによるバイオリン演奏、元氣一杯の信州大学 YOSAKOI 踊り、そして信州名物の美味しい食べものの数々、いずれも大変好評でした。ロビーでの被災者支援の物販も大変にぎわい、成果を挙げることができ

ました。

理事引継式では竹内元国際会長の司式により河合新理事の宣誓が行われ、理事バッジ、メダリオンが引き継がれました。



大震災のため、区大会の開催を中止すべきとの声もありましたが、熟慮の上、プログラムの枠組みを変えて開催して本当に良かったと、運営に携われた皆さまそして参加された皆さまに感謝申し上げます。

13-2 区大会での集会報告

▼ユースの集い

宇都宮・横浜・東京の各ユースメンバーおよびアジア地域ユースコンボケーション(AYC)参加者の合計 18 名のユースが大会に参加しました。4 日の『ユースの集い』では『ユースの力』をテーマに話合いの時間を持ち、また、夕食後も AYC の事前準備を行いました。ユース事業主任報告の中で 3 ユースクラブの紹介もできユースにとっても有意義な区大会でした。(吉田ユース事業主任)

▼メネットアワー

西日本区からの 3 名のメネットを加えて 41 名の参加がありました。藤井国際メネット ID の国際報告のあと、仙台クラブの吉田さん、仙台青葉城クラブの加藤さんから被災地支援の活動報告を伺い、私たちメネットもまだまだお手伝いをするのが沢山あることを実感しました。その一環として千羽鶴のレイを作り、8 月の仙台七夕に協力することを確認しました。短い時間でしたが、充実したメネットアワーを持つことができました。(鈴木ワイズメネット委員長)

▼担当主事会

14 名の YMCA 主事と、現・次期地域奉仕事業主任にも加わっていただき、東日本大震災支援についての情報交換を行いました。特に仙台 YMCA 大野総主事には報道では知ることので

きない被災者の声を語っていただき、支援に対する想いを強めることができました。継続的な支援のために、ワイズと YMCA の協働を続けていきたいと思えます。(小野連絡主事)

13-3 年次代議員会開催

区大会に先立って6月4日(土)11:00から開催された2010-2011年度年次代議員会は、定数82名中出席者52名、委任状6名(定足数は定数の2/3の55名)で開催され、以下の議案を審議し、全て承認されました。

- ① 2009-2010年度決算報告及び監査報告
- ② 2010-2011年度理事年次報告及び監査報告
- ③ 2010-2011年度中間会計報告及び監査報告
- ④ 2011-2012年度理事、次期理事、監事指名(理事:河合重三さん、次期理事:駒田勝彦さん、2011-2013年度監事:清水弘一さん。次々期理事は交渉中であり、追って郵便で代議員会の承認を得る。)
- ⑤ 2011-2012年度東日本区役員
- ⑥ 2011-2012年度東日本区理事方針(理事主題:ワイズライフを楽しもう!そして飛躍を)
- ⑦ 2011-2012年度東日本区予算
- ⑧ 第14回東日本区大会聖日礼拝献金贈呈先(東日本大震災支援募金とする。)
- ⑨ 第16回東日本区大会ホストクラブに関し、郵便により代議員会の承認を得る。

13-4 第4回東日本区役員会開催

6月3日(金)、長野県松本文化会館にて第4回東日本区役員会が開催され、代議員会提案案件の事前審議、東日本大震災支援活動報告が行われました。

13-5 本年度の表彰

東日本区大会2日目に本年度の各種表彰が行われました。理事表彰は以下のとおりです。(事業毎の表彰については当日配布の「東日本区表彰一覧」をご覧ください。)

▼東日本区奈良傳賞

伊藤千秋さん(札幌北)

1955年、札幌クラブにチャーターメンバーとして入会。1981年設立の札幌北クラブにチャーターメンバーとして移籍。ワイズ歴55年。その間、札幌クラブ会長、北部部長、北海道部役員を歴任。小樽・北見・十勝などのクラブ設立に尽力。1950年の北海道YMCA再建に参画し、爾来61年に亘って常議員会議長、理事などの要職を歴任し、YMCAを支えてこられました。

藤間孝夫さん(熱海グローリー)

1963年、熱海クラブにチャーターメンバーとして入会。1984年に設立された熱海グローリークラブにチャーターメンバーとして移籍、ワイズ歴48年。その間、第5代熱海クラブ会長、熱海で開催された第51回国際大会HC登録委員長、第3代富士山部部长、などを歴任。また、YMCAでは1963年に横浜YMCAに入会、1973年、熱海YMCA設立に伴い、初代理事長に就

任、1976年からは今日まで、35年に亘って副理事長の重責を担われています。

▼最優秀クラブ賞

仙台、仙台青葉城

仙台広瀬川クラブを東日本大震災直後でありながら信念と情熱を持って誕生させました。また、仙台YMCAに協力し、積極的に被災者支援活動に取り組んでいます。BF切手収集の成果も高く評価されます。

▼理事特別賞

東京江東、東京ひがし、信越妙高、東京銀座、横浜関内

東日本大震災被災地支援への優れた取り組みに対して

東京グリーン

「神田川船の会」の永年(30年)の取り組みに対して

▼ブリテン賞

最優秀賞:横浜つづき

優秀賞:千葉、熱海

努力賞:東京世田谷

▼感謝状

松本

区大会をホストした松本クラブに対して閉会式にて理事から感謝状と楯が贈られるべきところ、欠落しました。大会終了後の同クラブと理事事務局との昼食会にて贈呈されました。

13-6 区大会献金報告

聖日礼拝献金120,426円、募金箱献金39,928円、ジャンケン大会、手芸品等松本クラブ献金57,610円、計217,964円が東日本区・東日本大震災支援募金に捧げられました。また、被災地へのLEDランタン用単一乾電池は663個寄付いただきました。

13-7 BF代表受け入れのお願い

インドのBF代表クリアン夫妻が、台湾のアジア地域大会参加後、日本を訪問されます。8月10日から16日まで西日本区を訪問し、17日に新幹線で東日本区へ入り、8月27日に成田からインドへ帰国します。クリアンさんはインド区バンガロール・ミレニアムクラブに所属し、09-10年度には区理事を務められました。

8月17日から26日までの間で、クリアン夫妻をお世話下さるクラブを募集しています。ご応募がない場合は、部別に受入日を調整してお願いすることになりますので、よろしくご協力ください。

13-8 東日本大震災ステッカー購入のお願い



募金グッズとして支援対策本部で制作しました。直径9センチ。クラブ内での意識の盛り上げ、協力者への記念品等にお使い下さい。1枚100円で頒布いたします。クラブ単位で東日本区事務所にお申し込み下さい。